

《担当者名》白ゆりあいの里

実習指導責任者 業務支援課課長 / 大平 真由美
生活支援課係長 / 増田 雅子・佐藤 和恵・金谷 由加
北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校
専任教員 / 岡橋 智恵

【概要】

介護老人福祉施設の役割と機能を、実習を通して理解する。また、特に認知症や障害をもった高齢者との関わり方や特徴を学び、個別ケアの理念を習得する。

他職種間の連携の中でチームの一員としての役割を理解する。

【学修目標】

- 介護老人福祉施設の役割と機能を理解できる。
- 認知症高齢者との関わり方と特徴を理解できる。
- 障害の重症度に応じたケアの留意点を理解できる。
- 個別ケアの理念を理解できる。
- チームの一員としての役割を知り、チームケアの大切さを理解できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1日目	オリエンテーション 担当ユニット決定 施設見学（各ユニットの特徴について）	<ul style="list-style-type: none"> 法人理念の説明 介護老人福祉施設の役割と機能について学ぶ 個別ケアについて学ぶ 各職種の役割について学ぶ 認知症について学ぶ 記録の取り扱いについて学ぶ <ul style="list-style-type: none"> 担当入居者の紹介 ユニットでの生活の様子を実体験として見学し学ぶ 	大平 真由美 ユニットリーダー又はユニット担当職員
2日目	実習	<ul style="list-style-type: none"> 担当入居者の生活状況、精神面を学ぶ。 ユニット職員の動き、役割を観察し入居者を中心とした、生活の提供について学ぶ。 担当入居者中心にコミュニケーションを図る。 	ユニットリーダー又はユニット担当職員
3日目	実習	<ul style="list-style-type: none"> 担当入居者への精神面への理解を深める。 	ユニットリーダー又はユニット担当職員
4日目	実習	<ul style="list-style-type: none"> 担当入居者の交流関係を理解し、高齢者とのコミュニケーション能力を身につける。 高齢者の生活リズム、身体機能の特徴を理解する。 関係職種の役割を把握し、入居者を取り巻くチームケアを理解する。 	ユニットリーダー又はユニット担当職員

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

- 実習態度 90%
- 提出物 10%

【学修の準備】

- 介護老人福祉施設の概要、特徴、役割を学習しておく。
- 一般的な接遇マナーを身につけておく（特に高齢者に対する態度について）
- 高齢者の身体的特徴を学習しておく。
- 認知症について学習しておく。

- ・高齢者とのコミュニケーションに対して、話の糸口などどのように配慮していけばよいのかイメージしておく。
- ・自身の実習目的、目標を明確にしておく。